

あわべに
だより
淡紅

2018年 盛夏の号 No. 59

みとめあい わかちあい まち
“あなたと、寛容 共生の宝塚に”

宝塚市議会議員

おおしま ときこ
大島淡紅子

■ 議員控室

- Tel (0797) 77-1271
- Fax (0797) 74-1810
- E-mail goiken@tgikai.zaqrs.jp

■ 事務所 (月～金 10:00～15:00)

- 〒665-0816 宝塚市平井 1-6-14
- Tel&Fax (0797) 89-4090
- HP <http://ayumukai.jp/>
- E-mail o-ayumukai@poem.ocn.ne.jp

記録的な大雨が宝塚も襲い、市内にも避難所が開設されました。被害状況は現時点で判りませんが、ご苦労いただいたみなさまには感謝申し上げます。

議会研修会で高沖秀宣さん(三重県地方自治研究センター)は「政務活動費はしっかり研究に」「公聴会の開催を」「行政側に専決処分させない通年議会を」などと講演され、まだまだ議会がすべきことが山積みだと痛感しました。

まずは、7月14日の議会報告会や、8月28日の民生委員・児童委員さんとの意見交換会で、ご意見を頂戴し、市政に活かしていきたいと考えています。



議会基本条例第20条「多くの市民が議会と市政に関心をもつよう議会広報活動に努める」に則ってエフエム宝塚に出演。

[議会報告]

🎤 主な議案・請願・陳情の審議

一般会計補正予算



➡ 異議なし可決

…778億5,176万4千円に補正。
放課後児童クラブ1か所分の繰入金減額、新庁舎整備・文化芸術センターと庭園整備債務負担行為の追加など

市立病院条例の一部を改正する条例の制定



➡ 全員一致可決

…診療報酬改定に伴い、紹介状なしの初診料加算が5千円に

都市公園条例の一部を改正する条例の制定



➡ 全員一致可決

…宝塚ガーデンフィールズ跡地に「宝塚文化芸術センター庭園」を指定管理者制度で設置。また都市公園使用料を適正額に見直し

文化芸術センター条例の制定

➡ 全員一致可決

…「文化芸術センター」を指定管理者制度で設置。庭園とセンターに指定管理者選定委員会を設置

「核兵器禁止条約」に日本政府が参加・署名を求める請願

➡ 賛成多数採択

真政会



…核保有国と非保有国との間の橋渡し役を、唯一の被爆国として担っていく方針の目的は核兵器禁止条約への参加ではなく、現実的な核廃絶に向けた取り組みを進めていくことと反対討論あり

豊かな教育を実現するための義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願

➡ 賛成多数採択

公明党



…小泉政権下の三位一体改革を否定する文言があり賛成できないとの反対討論あり

市教育委員会教育長・委員の任命

➡ 全員一致同意

…教育長は森恵実子氏に、新委員は木野達夫氏に



「別居・離婚後、子を連れ去り、子を実親と引き離し続ける人権侵害、人身取引、児童虐待」を防止する条例整備及び「別居離婚後、子の面会交流支援」に関する条例整備と、それぞれの国に対する法整備の意見書提出についての陳情

➡ 結論を得ず

やすらぎ広場前トイレ再設置についての陳情

➡ 全員一致採択

…老朽化の為撤去されたトイレの再設置を求めるもの



豊かな教育を実現するための義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書提出

➡ 全員一致可決

…請願採択を受けて



旧優生保護法による不妊手術の被害者救済を求める意見書提出

➡ 全員一致可決

…久々に会派提出が通る





一般質問

1. 優生保護法下の強制不妊手術に関する宝塚市の責任について

🗨️ 兵庫県の動向は

A 国が関連資料保管状況調査を依頼、県健康増進課は当事者・家族等に問合せ・相談窓口開設

🗨️ 市は実態調査をしたのか

A 市町・医療機関・障がい者施設への5月2日付県通知により資料の適正保全。要請あれば調査に協力

◆旧優生保護法は、「優生上の見地から不良な子孫の出生を防止する」「母性の生命健康を保護する」という目的で1948年に制定されました。不妊手術は2種類—①「同意が必要な」不妊手術（本人や配偶者が遺伝性とされた病気・障がい、ハンセン病、妊娠・出産が母体の健康を損なう場合）、②「本人同意は不要」の強制不妊手術（遺伝性以外の知的・精神障がい者保護者が同意する場合と遺伝性疾病・障がい者の場合。いずれも審査会が決定）—1996年の母体保護法制定まで、施術数は約2万5千人、うち②は1万6千475人（厚生省の統計）。

◆かつて厚生省の「強制手術を強行できるか」との照会に、法務府は「基本的人権の制限は認めるが不良な子孫の出生を防ぐ目的で強行できる」と回答。また、厚生省は都道府県に「やむを得ない限

度で身体を拘束したり、麻酔薬の施用、騙しても構わない」と通知し、地域・国を挙げて人権侵害が行われてきました。違法な子宮摘出や卵巣への放射線照射もあり、1970年前後に「差別」と批判の中、結局1992年まで続きました。

◆兵庫県は1966～74年衛生部が中心となり、「不幸な子どもの生まれない運動」を展開、その施策が全国に波及しました。その責任は重大なのに、一昨年発行された『兵庫県立こども病院移転記念誌』には「本邦で初めてのユニークな県民運動」と称賛する文章が掲載され、市民団体からの抗議を受けました。また公表した手術件数が、県の衛生統計年報と神戸市・姫路市では異なり、矮小化の疑いが！障がい者団体などからは井戸知事に、実態調査と被害者への謝罪・救済を求める要望書が提出されています。

◆今年1月宮城県で「手術は違憲」と提訴、現在までで原告は7人。しかし国は請求棄却を求め争う姿勢。国会では救済法案提出を目標に議連が設立されました。全日本ろうあ連盟は全国の聴覚障害者を調査。県弁護士会は訴訟による被害救済をめざし弁護団結成、電話相談も実施しました。宝塚市は相談窓口を設置しないが、広報やホームページで県の窓口案内をすると消極的対応です。

◆女性の権利・母体保護の観点からとはいえ、社会党は推進した責任があり、社民党は謝罪と共に被害者救済に向け全力で取り組む覚悟です。ドイツ・スウェーデンといった外国では裁判を経ずに謝罪と補償がなされています。それは被害者に残された時間が少なくなっているから—迅速な救済を願うばかりです。

2. 「宝塚市きずなの家」について

🗨️ きずなの家事業の今後の計画は

A 現在7つ。今年度は家賃補助廃止・開設備品購入等の補助で、2団体募集。今後は状況を見て検討

🗨️ 第1号「きずなの家 ともにいきる宝塚」は来年運営の危機を迎える。本来、市がすべき事業だが、継続を支援しなくていいのか

A 地域ニーズを踏まえた熱心な取組みと認識。関係する部局間の連携を密にし、丁寧に対応する

◆特徴的なのが運営費補助（1日3千円）と家賃補助（5年までは上限月額15万円、8年までは半額、それ以降は打ち切り）。収益が上げられない事業にとって

は大変貴重です。地域での市民による「居場所」が、来年から毎年1か所ずつ消えて行かないか—現に今年の応募は0。

◆「ともにいきる宝塚」は、宝

塚市内でブラジル国籍の子どものによる自宅放火という痛ましい事件を受け、退職教員が中心となり、外国籍の子どもの教育支援と外国人市民の居場所づくり

をしています。日本語教育や放課後補充学習は、本来は市が行う事業。存続するためにも、ぜひ名案を！

◆いずれ、外国人に頼らざる得

ない時が訪れます。岡山県美作市は人口減少対策としてベトナム人の定住化を進めています。宝塚市でもベトナム国籍の方はこの3年間で3倍に急増。「ともに

いきる宝塚」にも沢山来られるそう。外国人だけでなく、サロンの高齢者、ひきこもりの青年たちの地域での居場所をなくしてはならないと要望しました。



2017年委託事業との比較

※人数は延べ数

- 宝塚 JOIE…外国人市民母国語等学習支援 (2016年)
 - 委託金収入 ¥1,242,197 拠点家賃 ¥0 (別途共益費)
 - 母語教室 (子供向け) 52人 日本語教室 (大人向け) 360人
- ともにいきる宝塚
 - 委託金収入 ¥0 拠点家賃 来年から満額発生
 - 学習支援 (子ども向け) 68人 語学支援 (大人向け) 452人



宝塚での「子ども食堂」

3. 新設保育園の保育環境について

🗨️ 近隣住民から反対の声が多数届けられているが、問題はどこにあると認識しているか **応募法人が用地確保・施設の設置・運営を前提で公募し、選定委員会の答申に基づいて市が決定した。**

現在条例に基づき地域へ説明中。法人開催だが市も同席し説明。住民からは用地選定経緯、音、交通事情等意見を頂いている。理解を得られていない点は、個別対応で丁寧に説明し、不安の軽減に努める

🗨️ 園内に駐車場がなくても、周辺の道路事情の改善は必要ではないか

幹線道路から予定地まで全ての拡幅は困難だが、自転車・バギー・

徒歩での通園に対し、更なる安全対策を検討する

🗨️ 騒音への対策は万全か

室外機設置場所や境界線からの距離等、法人は更なる設計の工夫を検討中



通園路になる市道 1157 号線。フェンスが必要。

<問題点と市の回答は下記>

◆住環境は悪化？

- ❖ 一概に「地域エゴ」とは言えない。面積 850 m²×高さ 9.95 m の建物が隣に建つのに、安全や騒音等の不安は解消されないまま。
- ❖ 「資産価値が下がる」かは、「住民が受ける影響が受忍限度を超えていれば」の議論。

しかし、子育て世代にとっては「資産価値は高まる」。

- ❖ この地域は第5種高度地区で、高さ 15m (4階建て) のマンションも建築可能。保育園でない場合の損益を説明すべき。また、近隣放課後児童クラブの撤退予定もあり、それまでは開設を待つという激変緩和措置も提案。

◆保育園建設問題は、全国どこでも生じ得て普遍的です。住民から6月末時点で3回、100人超の署名付き要望書が、市と議会に提出されました。

解決をめざすならば、市はもっと胸襟を開き、市民に寄り添い、同じ目線で臨まない限り、平行線で進展がないことを訴え続けま

<指摘した問題点>

😊 は市の回答

① 交通の安全

- ・選定委員会の評価項目にないことを指摘。
 - ・放課後児童クラブからの帰宅は子ども同士 (延長保育以外)。
- 登下園時は大人が出迎えて欲しい。

- ・山本東3丁目の契約駐車場へ進入する市道 3991 号線は、阪急山本駅南交差点を経て朝、慢性的に渋滞。駐車場へ入る車が交通の妨げに。8時過ぎには満車の恐れ⇒ 😊 もう1か所探すよう促す
- ・園から南へ下がり市道 3991 号線に出る沢池の堤に市道 1157

号線が設置。ここが通園路となるが、幅 2.1~3.3m で人・自転車・バイク・軽自動車を通る。東側の高さ 2m ほどの土手に危険回避のためのフェンスが必要

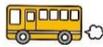
・造園業者のトラック (クレーン車や大型車) の出入口が敷地東側にできる。セットバック等交通状況改善を! ⇒ 😊 調整したい

② 住宅密集地

・火事や犯罪等危険回避のため、緊急用通用口が必要 ⇒ 😊 促す

③ 地域開放

・子育て支援や地域交流事業を ⇒ 😊 地域在宅児童の行事参加など



女川町・南三陸町に行ってきました 「シーパルピア女川」「まちなか交流館」



16mの津浪で町の8割が被害を受けた女川町。海から駅までの一帯を、町内外の人々が気軽に訪れ、集い、語り合う町の居場所「シーパルピア女川」を形成。店舗の周辺に郵便局や銀行などの公共的建物を配し、お店はスペインタイルや段ボールで活気を願う。ボランティアから定住した外国の方もいる。観光案内所職員から復興の様子を聴く。

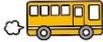
「まちなか交流館」では宝塚市の派遣職員2名も参加し、まちづくりの説明を拝聴。女川町は人口減少率34%（日本一）。意識的に都市機能を拠点化し、居住地は高台に。海も一望できるよう防波堤を低くした「減災」。公共用地は広大なメモリアル公園を含み42%完成。宅地は75%が引渡し終了。造成も来春3月末に完成すると順調だ。



派遣職員は高く評価されていて頼もしい。宝塚と交流する女川の「さんま」。水産業は水揚・生産量が震災前より減ったが、高単価品を扱って、生産額ははるかに超えた。

参事のお話が印象的だった。「新しいまちは若い人たちが描くまちにすればいい。トラブルの対応や最終的な責任は私たちが取る」と。更なる発展を願う。

「語り部バスツアー」「南三陸町役場」



「ハマレ歌津」～「鎮魂の森」～「伊里前団地」～「歌津復興交流センター」

戸倉地区・志津川地区を視る。車内、ホテル観洋の職員から震災直後のホテル（2次避難所）の取組みを聞き、関連施設の民間震災遺構を訪れた。その後、多くの犠牲者を出した旧防災対策庁舎では復興支援の誓いを捧げた。校長の適正な判断で子どもたちが助かった戸倉小中跡も見学する。

昨年秋、隈研吾氏設計で開庁した新庁舎で、震災復興の状況を聴く。こちらでも派遣職員が同席。建物被害6割、人口減少率29%。JR気仙沼線は、女川町と違い、BRT（バス高速輸送システム）に。防災集団移転促進事業・災害公営住宅整備事業は昨年初めに完了。水産業は震災前底だった水揚量が改善し、金額は倍以上に。特徴的なのは、バイオマス産業でエコタウンをめざし、森と海の整備で南三陸ブランド牡蠣を養殖している。



歌津地区では、小野寺さん（復興支援の会一燈）と千葉さん（愛の手をつなぐ親の会）の案内で、商店街ハマレ歌津の見学。ボランティアとの協力がある。鎮魂の森、復興住宅を見学後、被災保育所を利用した交流センターで歌津地区の復興状況を聴く。宝塚とは歌津応援団を通じ物産交流を続けた。山本のオタフクナンテンや皇帝ダリアが。



民間の復興支援が、被災当事者のエンパワメントに繋がることを体感した。



仮設住宅から出られない人も。



商業地区「シーパルピア女川」は海のそば。



前町長が提供した「鎮魂の森」。



志津川地区旧防災対策庁舎。

き紅と淡の聲

「日大ア
メフト部
選手が危

仕事の公務員が、モリ
カケ問題で文書改ざん
までやってのける伏線
は、ここではないのか
／南相馬市から避難中
の布絵作家・青田恵子
さんは、講演の最後に、
招かれたことに感謝を
述べた。「震災から7年
も経っているのに……」
と。つまり人々の意識
から「フクシマ」は消
され国から捨てられ、
原発は再稼働を始めて
いる。／だが、純粹な
若者の良心から、日大
アメフト部のピラミッ
ドが崩れた。韓国では
大統領を引きずり降ろ
した。まだまだ社会は
変えられる

「序曲」

杉山鮎水選

五月

特選 母の日の母住む町は通過駅

◇ 五月雨に負けじと歩む一年生

◇ 新茶汲む寡黙な夫の老眼鏡

六月

特選 紫陽花や飯屋の通し土間長し

◇ 跳ね鯉の緋の鮮やかに梅雨の朝

◇ 集落に絶えし血縁青田風



栄子

淡紅子

峯子

栄子

峯子

栄子